

目 次

はしがき

I 工業の街大阪の都市化変遷図の作成

— 社会労働運動の背景として —

大 谷 渡・相 良 真理子

..... 1

II 近代日本紡績業と労働者 — 近代的な「女工」育成と労働運動 —

橋 口 勝 利

はじめに 11

1 日本紡績業の成立と労働観の変化 13

2 紡績企業は「農村女性」を如何にして「女工」にしたのか? 16

おわりに 26

III 大阪における勤務評定反対運動の思想と状況

— 勤評闘争の「大衆性」再考の試み —

広 瀬 義 徳

1 本稿の目的と課題 31

2 勤務評定反対運動をめぐる「大衆性」再考の論点 33

3 全国新聞紙、世論調査における勤務評定に関する意識状況 39

4 元組合員教師へのインタビュー調査から見える

大阪勤務評定反対運動史の細部 47

5 結論に代えて 54

IV 炭鉱離職者と関西の労働運動（1）

谷 合 佳代子

| | |
|---------------------|----|
| はじめに | 59 |
| 1 戦後石炭政策と炭鉱離職者対策の概略 | 61 |
| 2 三池争議後の離職者の再就職 | 63 |
| 3 離職者と総評大阪地評 | 65 |
| 4 「三池魂」はいかに受け継がれたか | 67 |
| 5 今後の研究課題 | 80 |

V プライバシー権と民主制—西成監視カメラ訴訟を契機として—

高 作 正 博

| | |
|--------------------------|----|
| 序—プライバシーの現在 | 81 |
| 1 プライバシー権の保障と価値 | 82 |
| 2 プライバシー権の制約—公法関係を中心に | 90 |
| 結—「監視」によるプライバシー権・民主制への影響 | 95 |

VI 大阪市職員アンケート調査国賠訴訟

小 泉 良 幸

| | |
|------------|-----|
| はじめに | 101 |
| 1 憲法判断の枠組み | 103 |
| 2 あてはめ | 114 |
| おわりに | 123 |
| [資料] | 125 |

VII 憲法上の義務

西村枝美

- 1 イエリネクの地位論 137
- 2 義務のその後 145
- 3 公務員の義務 153
- 4 分析 158

VIII 社会労働運動の表象 — 赤旗の歴史

植村邦彦

- はじめに 167
- 1 2012年／1832年の赤旗 171
- 2 1789年の三色旗と赤旗 175
- 3 1792年の赤旗 181
- 4 1848年の赤旗 186
- 5 パリ・コムューン以後の赤旗と労働組合運動 191